

## はじめに



Sako Yugo  
酒向雄豪  
(企画・監督  
製作)

すべてはインドに心を魅せられた酒向雄豪によって始まった。NHK報道部を経て、禅寺で育った幼少期から憧れていたインドをテーマに数々のテレビ用ドキュメンタリーを製作していた。1983年彼は、「ラーマヤナ」を歴史的事実としてアラハバード近郊での発掘調査をする考古学者B.B.ラール博士取材しテレビ番組を製作した。

それが発端となり、デリーの日本大使館にヒンドゥ教団体から外国人が「ラーマヤナ」を許可なく映像化したという抗議文が届いた。

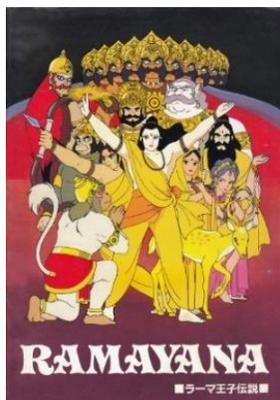
外交問題への発展を恐れた日本政府に命じられ彼は、この団体の事務局長ハル・モハン・ラール氏と会見する。丁重に誤解を解いた後、インドで俳優が演じる「ラーマヤナ」を目撃した酒向に、空を飛ぶハヌマーン、超能力的な神の武器も登場する神話を描くには、アニメーションこそふさわしい、と神話のアニメ化が閃いた。「インドの大地で私は神話のアニメ化という啓示をラーマ神から受けたのだ。」と彼は語る。この瞬間から長編アニメーション映画「ラーマヤナ」製作の長い道のりが開始されたのだ。

1984年、正式に映画化の許可状を得てアニメ化を企画。情熱あふれるインドのアニメ界のパイオニア、ラームモハンが参加、ナチケット・ジャヨー・パトワードハン夫妻が舞台設定としての原画を描き、政治家兼インドの国民的俳優スニール・ダット(サンジャイ・ダットの父)が顧問となり多くの専門家が企画に結集した。



Ram Mohan  
ラーム・モハン  
(監督)

ムンバイのオペロフィルムが日印合弁企業の認可と資金援助を求めインド政府と交渉した。当時のラジブ・ガンディー首相にも会見したが、政府との交渉にはいたずらに長い年月だけが費やされ、市場開放以前のインド政府から許可は下りず、この企画は暗礁に乗り上げた。



＜主な製作スタッフ＞  
製作実行委員会：松尾篤  
企画・監督・プロデューサー：酒向雄豪  
脚本：ナレンドラ・シャルマ、酒向雄豪  
監督：ラーム・モハン、佐々木皓一  
音楽監督：ヴァヌラージ・パティヤ  
音響監督：青木正嗣  
作画監督：小林一幸  
美術監督：松岡聡  
製作：石黒育、吉居憲治  
(35mm、カラー・ドルビー・135分)  
主催：日印共作25周年上映実行委員会  
©1993(株)TEM  
東京都千代田区永田町2-17-5-111

デジタルな時代の今、手描きセル画をフィルム上映館で鑑賞する贅沢！

2018年9月より年内上映決定

9月1日(土)、24日(土) 11月3日(土)

12月9日(日)は特別イベント

浅野哲哉さんが、矢萩多聞さん、マサラワラー(武田尋善さん、鹿島信治さん)他、と対談  
マサラワラーさんのインド料理食べさせられ放題

\*上映スケジュール、料金は上映館にてご確認下さい

## 日本での製作

1991年、不屈の精神に燃える酒向は、資金のすべてを日本側で調達することを決意。政財界で活躍していた松尾篤のもとに新たな体制を整え、東京の広尾に制作スタジオを開設した。全世界への配給を想定して英語で製作され、挿入歌には神話の言語サンスクリット語が使われた。脚本はヒンディー文学者・詩人のナレンドラ・シャルマによって書かれた。



Snil Dutt  
スニール・ダット  
(顧問)



Nachiket  
Patwardhan  
ナチケット  
パドワードハン  
(美術)

日本からは宮崎駿監督作品でも活躍している優秀なアニメーターたちが集められた。宮崎駿氏に監督を依頼して断られた経緯があるが、それがきっかけで「天空の城ラピュタ」の少女にシータの名前が使われることになった。

日印合作長編アニメーション映画「ラーマヤナ」は、総勢450名、100,000枚以上の手書きセル画により、およそ8億円が投じられ9年の歳月をかけて1992年に完成した。

1993年1月のデリー国際映画祭で初公開され、インドのマスコミは「これぞ、インドと日本の新しい友情の証」と絶賛した。

インドでの初公開から世界各地での映画祭で高い評価を受けたが、いよいよ公開という時に、オーム真理教地下鉄サリン事件、インドのバープリマスジッド破壊事件が勃発。作品は配給の機会を奪われた。そもそも日本人ジャーナリストとインドの出会いから始まったアニメ化は、映画が完成しただけでも奇跡だったと関係者は語る。

ラームモハン監督は「この作品はインドのアニメ界に衝撃的な影響を与えました。私はもっと多くの日本人にこの作品の重要性を知ってほしいのです。インドの神話とボリウッドがアニメ技術の優れた日本と共に仕上げた奇跡のような出来事がこの美しい作品の存在なのです。」

今再び、日印交流に貢献したインドと日本の奇跡を多くの人に届けるために25周年記念上映実行委員会が結成された。

## シネマノヴェチェントへのご来場は

電車をご利用の場合

京浜急行電鉄本線「戸部駅」より約徒歩10分  
相模鉄道線「西横浜駅」より約徒歩10分

お車をご利用の場合

専用駐車場はございませんので、シネマ近隣の民間駐車場のご利用をお願いいたします



〒220-0051 横浜市西区中央2-1-8 岩崎ビル2F

お問い合わせ先 ☎045(548)8712

✉ info@cinema1900.yokohama

An Animated Feature Film  
Produced In Japan With Technical Collaboration From India

日本がインドと共作した奇跡の最高傑作  
インドが世界に誇る古代叙事詩が  
アニメとなって蘇る!!!



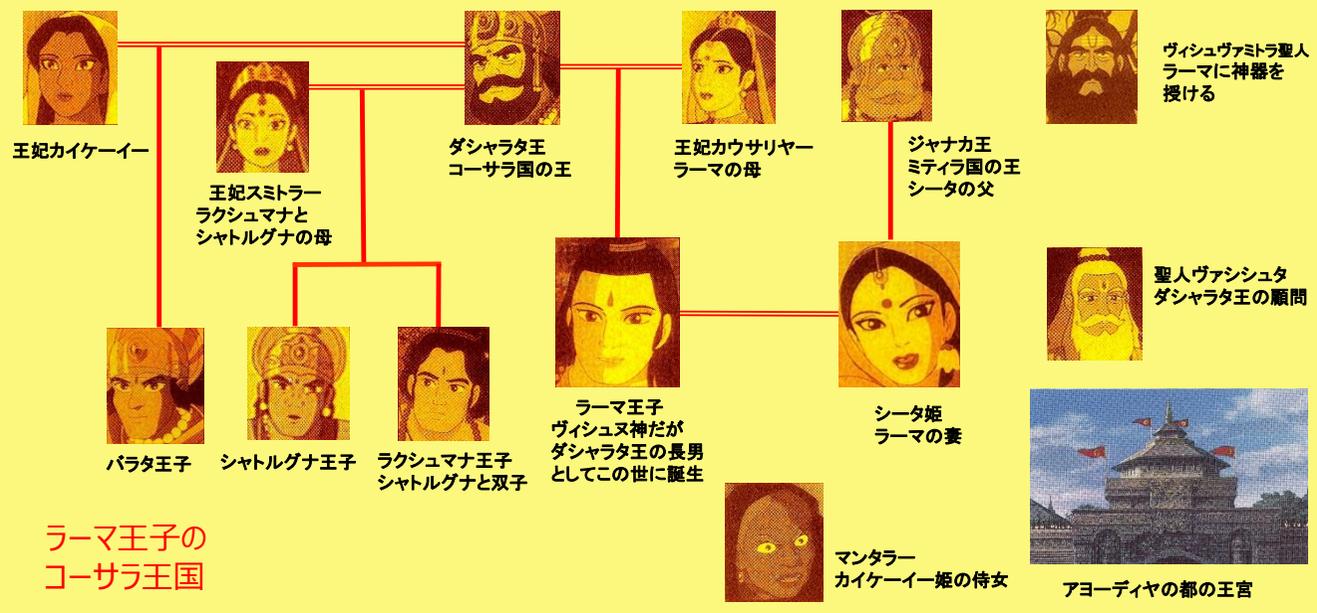
Has the world ever known  
a story such as this in which  
gods, mortals  
and all of nature's creations  
are brought together to share  
their sorrows, conflicts and joys?!

ラーマ王子伝説

ラーマヤナ

The Legend of Prince Rama

RAMAYANA



ヒンドゥは、この世は創造・維持・破壊の無限の繰り返しであると言う。  
 創造の神はブラフマン、維持の神はヴィシュヌ、破壊の神はシヴァ。  
 ヴィシュヌは地球の危機には、救済のために化身としてこの世に顕れる。  
 「ラーマヤナ」の主人公ラーマは ヴィシュヌの化身である。

### 「ラーマヤナ」とは

「マハーバーラタ」と並ぶ古代インドの二大叙事詩のひとつである。サンスクリット語で書かれ、紀元前4-5世紀には成立したといわれる。この作品は、詩人ヴァールミーキが編纂したものを原作としている。この物語は、インドのみならず、東南アジアにも広範に伝えられ、アンコールワットやタイの舞踊、インドネシアの影絵芝居など絵画、彫刻、建築、音楽、舞踏、演劇、映画のテーマとなっている。中国では「西遊記」に形を変え、日本にも平安時代に漢訳仏典により伝えられた。桃太郎もこの物語が元になっているという説もある。



### あらすじ

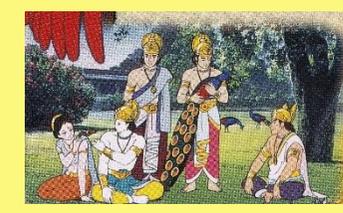
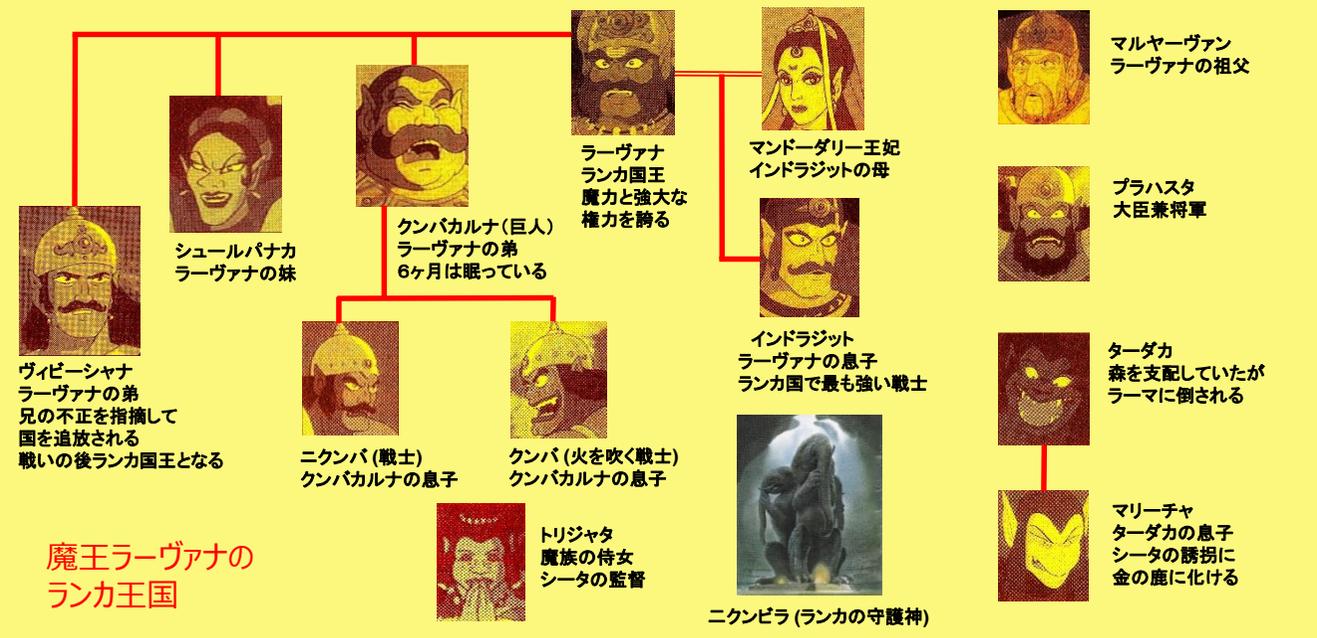
古代インドのコーサラ国の都アヨーディヤのダシャラタ王には3人の王妃と4人の王子がいた。ラーマは第一王子として生まれたが、別の王妃の嫉妬により王宮を追放され、シータ姫、弟ラクシュマンと14年間森で放浪する。ある日森に潜む羅刹女を追い払ったことにより、ランカに住む魔王ラヴァナの怒りをかい、シータ姫を誘拐される。



鳥王ジャタユによりそれを知ったラーマは、シータ姫を救うために、猿王スグリーヴァとハヌマーンの助けを得て、海の上に橋を築き、ランカ城に攻めこむ。



しかし、ラヴァナの軍勢と戦闘中、ラクシュマンは瀕死の重傷を負う。ハヌマーンは薬草を取りにヒマラヤに飛び彼を救う。ラーマは神の武器を使って10の頭と20の腕をもつラヴァナに戦いを挑む…。



- 映画祭**
- ウダイプル子供映画祭(1993年)
  - バンクーバー映画祭(1993年)
  - カーディフ国際アニメ映画祭(1994年)
  - モーリシャス文部省招待作品(1997年)
  - インドで劇場公開(1997年)
  - 東京ファンタスティック映画祭(1997年)
  - ジャパソサエティ(ニューヨーク1999年)
  - ハワイ映画祭(2000年)、他

- 受賞**
- サンタクラリタ国際映画祭・アニメーション映画最優秀賞(2000年)
  - 第74回アカデミーアニメ部門にノミネート(2002年)
  - インド最優秀DVD作品賞(2005年)

## ラーマーヤナ上映時間 (2018年10月～12月)

日にち	開始時間	備考
10月1日(月)	15:00	
10月3日(水)	15:00	
10月4日(木)	15:00	
10月5日(金)	15:00	
10月15日(月)	16:30	
10月17日(水)	16:30	
10月18日(木)	16:30	
10月19日(金)	16:30	
10月27日(土)	12:00	
10月28日(日)	12:00	
<b>11月3日(土)</b>	<b>15:00</b>	<b>※特別イベント</b>
11月4日(日)	12:00	※映画上映後
11月10日(土)	12:00	特別ゲストによる対談
11月15日(木)	14:30	懇親会(別料金)
11月16日(金)	14:30	
11月24日(土)	10:30	
11月25日(日)	10:30	
12月8日(土)	12:00	
<b>12月9日(日)</b>	<b>14:30</b>	<b>※特別イベント</b>
12月10日(月)	16:30	※映画上映後
12月12日(水)	16:30	特別ゲストによる対談
12月13日(木)	16:30	懇親会(別料金)
12月14日(金)	16:30	
12月15日(土)	12:00	
12月22日(土)	12:00	
12月28日(金)	19:00	

均一料金 ¥1,500 ※特別イベント 前売り¥3,000 当日¥3,500  
懇親会(マサラワラーさんの南インド料理食べさせられ放題込み) ¥3,500

映画館: シネマノヴェチェント

お問い合わせ対応時間 (15時～19時 火曜日休館)

Tel: 045-548-8712 メール: [info@cinema1900.yokohama](mailto:info@cinema1900.yokohama)

<http://cinema1900.wixsite.com/home/8-25-31>

〒220-0051 横浜市西区中央 2-1-8 岩崎ビル2F

(相鉄線「西横浜」駅、京浜急行「戸部」駅より徒歩10分)

\* 劇場の都合等により上映日時、時間の変更があることをご了承下さい。

映画館のホームページやお電話にてご確認ください。

## Ramayana Showing Time Table 2018

Date	Time	Note
10/1 (Mon)	15:00	
10/3 (Wed)	15:00	
10/4 (Thu)	15:00	
10/5 (Fri)	15:00	
10/15 (Mon)	16:30	
10/17 (Wed)	16:30	
10/18 (Thu)	16:30	
10/19 (Fri)	16:30	
10/27 (Sat)	12:00	
10/28 (Sun)	12:00	
<b>11/3 (Sat)</b>	<b>15:00</b>	<b>※ Special event</b>
11/4 (Sun)	12:00	* After the show, special
11/10 (Sat)	12:00	guests give a talk about the
11/15 (Thu)	14:30	film. Followed by get-
11/16 (Fri)	14:30	together with Indian dishes
11/24 (Sat)	10:30	(additional price)
11/25 (Sun)	10:30	
12/8 (Sat)	12:00	
<b>12/9 (Sun)</b>	<b>14:30</b>	<b>※ Special event</b>
12/10 (Mon)	16:30	* After the show, special
12/12 (Wed)	16:30	guests give a talk about the
12/13 (Thu)	16:30	film. Followed by get-
12/14 (Fri)	16:30	together with Indian dishes
12/15 (Sat)	12:00	(additional price)
12/22 (Sat)	12:00	
12/28 (Fri)	19:00	

Price: ¥1,500 per show

**Special Event (Nov 3<sup>rd</sup>, December 9<sup>th</sup>):**

Pre-ordered ¥3,000 Day ticket ¥3,500 / Party with food ¥3,500

Please purchase pre-ordered ticket at the online ticket by the theater

Theater : Cinema Novecento <http://cinema1900.wixsite.com/home>

Office hours (3pm-7pm, closed on Tuesday)

Tel: 045-548-8712 email: [info@cinema1900.yokohama](mailto:info@cinema1900.yokohama)

Address: Iwasaki bldg. 2F, 2-1-8 Chuo, Nishi-ku, Yokohama 2200051

Nearest station: 10 min walk from "Nishi-yokohama" of Sotetsu line, or  
"Tobe" of Keihin kyuko line

\* Please note that there might be sudden change of schedule without notice.  
It is recommended to check the schedule to the theater by website.